

はじめに

平成30年第3回倶知安町定例町議会の開会にあたり、6月定例会以降における教育行政の主だった事務事業の執行状況及びその概要についてご報告をさせていただきます。

(学校教育関連)

1 町内小中学生の各種大会の出場結果等について

町内小中学校では、6月から7月後半にかけて小学生の陸上大会、中体連の後志・全道大会等の各種大会へ出場しました。

小学生では、6月16日に開催された後志小学生陸上競技大会において、優秀な成績をおさめた児童9名が、7月15日・16日に函館市で開催された第36回北海道小学生陸上競技大会に出場し、5年女子走り高跳びで倶知安小学校の児童が4位入賞、6年男子走り幅跳びで北陽小学校の児童が7位入賞という成績をおさめました。

また、中体連では、女子バレーボール、男子サッカー、女子ソフトボール、男子剣道の団体種目をはじめ、水泳、陸上、剣道の各個人競技で全道大会出場を果たしました。

結果は、各チーム・選手はベストを尽くしましたが、男子サッカーは1回戦で勝利した後2回戦で敗退、女子バレーボール

が予選リーグで敗退、女子ソフトボールは1回戦で敗退、男子剣道が予選リーグ敗退という結果でした。

陸上男子走り幅跳び・女子1500メートル・女子走り幅跳びで決勝に進んだものの惜しくも入賞はなりませんでした。

また、水泳、剣道の各個人競技では、残念ながら決勝へ進むことはできませんでした。

次に、文化系の大会についてですが、西小学校の音楽部が、7月31日開催のNHK全国音楽コンクール小樽後志地区大会で金賞を受賞し、9月1日開催の北海道ブロックコンクールへの出場を2年ぶりに決めました。

2 小中高英語連携事業について

4年目となりました小中高英語連携事業では、7月6日に第1回の英語連携協議会を開催し、今年度の活動について決定しました。

今年度の取り組みとして、8月7日・8日に樺山地区のコテージを会場に、1泊2日でのイングリッシュ・サマー・キャンプを実施しました。

このキャンプには、町内の小中学校から当初定員30名のところ48名の応募・参加があり、加えて講師として倶知安高校3

名・倶知安中学校 1 名の英語科の先生方と本町 A L T、さらに後志総合振興局のグローバルサポーター派遣事業による外国人講師 3 名の方々にもご協力をいただき、事務局を含め総勢 66 名で実施しました。

1 日目は、アイスブレイクで緊張を解きほぐした後、外国人ガイドによるラフティングや異年齢で構成されたグループでの英語によるゲームなどを実施し、2 日目は英語でのラジオ体操の後、グループごとにコテージ周辺の自然について英語でのプレゼンテーションなどを行い終了したところです。

3 平成31年度使用の小中学校用教科用図書の採択について

平成31年度使用の小中学校用教科用図書について、新たに①「特別の教科 道徳」の中学校用教科用図書、②「特別の教科 道徳」を除く小学校用教科用図書及び③学校教育法附則第 9 条に規定される特別支援学級用教科用図書について採択を行いました。

採択は管内 19 町村で構成される第 4 地区採択協議会において調査研究並びに協議が行われ、8 月 3 日に開催された第 3 回協議会で決定をしたところです。

本委員会では、8 月 20 日の教育委員会議で、本年、新たに採

採択協議会で決定された小中学校用教科用図書と合わせ、平成30年度に使用している①「特別の教科 道徳」の小学校用教科用図書、②「特別の教科 道徳」を除く中学校用教科用図書及び③学校教育法附則第9条に規定される特別支援学級用教科用図書につきましても、同一のものを使用することで決定いたしました。

なお、本年、新たに採択した教科用図書については、資料編に掲載しておりますのでご参照いただきたいと思います。

（社会教育関連）

1 平成30年度 第32回全日本小学生女子ソフトボール大会 の開催について

第32回全日本小学生女子ソフトボール大会が、7月28日から7月31日までの4日間、町営ソフトボール球場において開催されました。

全国31都道府県から48チーム、選手・監督約990名、保護者や関係者などを含めると総勢1,300名を超える大会となりました。

倶知安町の代表チームは、惜しくも1回戦敗退となりました

が、各チームとも日頃鍛えた技と力を存分に発揮し、大会を終了しました。

むすびに

以上、第2回定例町議会以降の教育行政の主な事業についてご報告申し上げましたが、事務事業の詳細につきましては、以下に掲載しております資料をご参照いただきたいと思います。

これで教育行政報告を終わります。

(資料1) 会議などの開催状況及び事業概要 P 6～

(資料2) 各種工事、委託業務等の発注状況 P 16～